

2026年2月20日

各 位

不動産投資信託証券発行者名

東京都中央区日本橋一丁目4番1号

三井不動産アコモデーションファンド投資法人

代表者名 執行役員 井上 徹
(コード番号 3226)

資産運用会社名

株式会社三井不動産アコモデーションファンドマネジメント

代表者名 代表取締役社長 石川 敬洋

問合せ先 取締役財務本部長 牧野 辰

(TEL. 03-3246-3677)

資産運用会社における地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）の活用に関するお知らせ

三井不動産アコモデーションファンド投資法人（以下「本投資法人」といいます。）の資産運用会社である株式会社三井不動産アコモデーションファンドマネジメント（以下「本資産運用会社」といいます。）において、今年度も地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）を活用（以下「本寄附」といいます。）いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 本寄附の意義

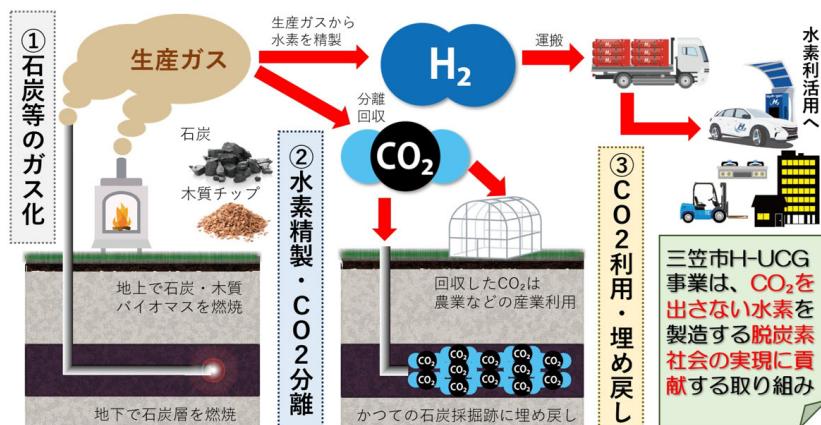
本投資法人及び本資産運用会社は、持続可能な社会の実現が本投資法人の持続的な成長にとって不可欠であるとの認識のもと、環境負荷の低減をはじめとする私たちが直面する様々な社会課題に対して、社内外の様々な主体との多様な連携・協力によりこれらを解決することに貢献したいと考えてまいりました。今般、本資産運用会社が地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）を活用した寄附を行うことで、地方自治体が進める環境・社会活動に貢献できるものと期待しています。

2. 本寄附について

・北海道三笠市は、かつて炭鉱の町として栄え、現在は三笠市の地下に埋蔵されている7億トン以上の石炭をエネルギーとして有効活用するために、ハイブリッド石炭地下ガス化（H-UCG）事業（石炭を燃焼し水素を製造する過程で生じるCO₂を回収し、地下に固定化させることにより事業全体でCO₂排出量ゼロとなる仕組み）を推進しています。同市では、本事業を通じてCO₂を排出しないブルー水素エネルギーの製造・利用による脱炭素社会の実現を目指しています。

本資産運用会社は、北海道三笠市のこれらの取り組みがSDGsの目指す「7.エネルギーをみんなにそしてクリーンに」「13.気候変動に具体的な対策を」に貢献すると考え寄附を行いました。

(参考) ハイブリッド石炭地下ガス化 (H-UCG) 事業の概要図



北海道三笠市章

- 宮城県南三陸町は、宮城県北東部に位置し志津川湾に隣接する自然豊かな町です。田東山に代表される山々から流れ込む清流は湾の豊かな藻場を育み、カキやギンザケ、ワカメの養殖など多様な水産業を支えてきましたが、東日本大震災の大津波により藻場の大部分が流失し、現在も一部の藻場が再生できていない状況です。こうした状況のもと、同町では地域の漁協、民間企業、学生などが一体となって藻場の再生に向けたプロジェクトに取り組んでいます。

本資産運用会社は、宮城県南三陸町のこれらの取り組みが SDGs の目指す「13. 気候変動に具体的な対策を」「14. 海の豊かさを守ろう」に貢献すると考え寄附を行いました。



宮城県南三陸町章

3. 今後の見通し

本寄附は本資産運用会社が行ったものであるため、本投資法人の運用状況への影響はありません。

以上

- * 北海道三笠市地方創生応援税制（ハイブリッド石炭地下ガス化（H-UCG）事業）

<https://www.city.mikasa.hokkaido.jp/hotnews/detail/00011306.html>
- * 宮城県南三陸町地方創生応援税制（志津川湾におけるアマモ場再生の取り組み）

<https://www.town.minamisanriku.miyagi.jp/furusato-tax/kigyo-furusato/index.html>
- * 本投資法人のウェブサイト：<https://www.naf-r.jp>